

実践報告 12

パフォーマンス評価の実践

—書くことにおける指導と評価—

愛知県立知立東高等学校 教諭 森島 崇

1 はじめに

パフォーマンステストを3観点で評価するルーブリックについて研究を行った。「書くこと」の領域を担当したのは研究員4名であったが、それぞれ学校の特性に違いが見られた。自分の担当するクラスのみで完結できる学校から、学年全体で取り組んでいかなければならない学校まである。本校は後者に該当するため、評価をする際には自分だけで取り組むことはできない。この研究に取り組む上で真っ先に考えたのは、いかに学年全体、他の教員を巻き込んで実践し、ルーブリックを作成していくかという課題であった。

2 単元の目標と言語活動

(1) 教材

ア 教科書：DUALSCOPE English Expression II（数研出版）

イ 単元：UNIT 22 Using Words to Connect Ideas

(2) 単元の目標

- ・分かりやすい表現を使い、Topic Sentence - Supporting Sentence - Concluding Sentence という基本的構成を理解して文章を作成する。

3 関係する領域別目標（学年のCAN-DO）

| | |
|----------------|--|
| 聞くこと | 日常生活に関する身近な内容を聞いて、情報や考えなどを理解し、要点を捉えることができる。 |
| 読むこと | 未知の語があっても、意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら、内容を捉えることができる。 |
| 話すこと [やり取り] | 【令和4年度に向け、検討中】 |
| 話すこと [発表] | さまざまなテーマについて、ある程度まとまった文章で聞き手に分かりやすく正確に伝えることができる。 |
| 書くこと | さまざまなテーマについて、文と文とのつながりを示す語句や理由を述べる表現に注意しながら、自分の考えを100語程度のまとまった文章で書くことができる。 |

4 単元の評価規準（五つの領域ごとの評価規準の設定）

| 評価の観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-------|---|---|---|
| 書くこと | <p><知識> 自分の意見、感想を伝えるために必要な文章構成や展開、表現を理解している。</p> <p><技能> 長崎のテーマについて、自分の意見や感想を文章の構成や展開を工夫して書く技能を身に付けている。</p> | 読み手によく理解してもらえるように、長崎のテーマについて学んだことを活用しながら、自分の意見や感想を、文章の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えている。 | 読み手によく理解してもらえるように、長崎のテーマについて学んだことを活用しながら、自分の意見や感想を、文章の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えようとしている。 |

5 言語活動を中心とした指導と評価の計画

| 時間 | ねらい、学習活動 | 評価の観点 | | | 指導上の留意点 評価規準（評価方法） |
|-------|--|-------|---|---|--|
| | | 知 | 思 | 主 | |
| 提出課題 | <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマに沿った内容であるかの確認をする。 ・生徒がロイロノートを使用できるか確認をする。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日までに自分の設定したテーマ、タイトルを決めて、ロイロノートに送信する | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ、タイトルが課題に沿ったものであるかを確認する。 ・ロイロノートの提出ができていないかの確認と使用方法が分からない生徒へのフォローをする。 |
| 授業10分 | <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ループリックを提示することで課題目標をはっきりと示す。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ループリックの提示と説明をする。 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・採点の基準を生徒と共有する。 |
| 提出課題 | <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間で調べた内容や学んだ知識などを利用して、今まで学んできた英語で自分の考え、意見、感想を表現できているか確認をする。 <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日までに自分の設定したテーマで英作文をして、提出する。 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ループリックに従い、チェックをして、書き直しのためのアドバイスをできるようにしておく（アドバイスシートを使用）。 |
| 授業1時間 | <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、補助プリントを利用して、文章の構成、文をつなげる語句を確認して、再度書き直しの機会を与える。 ・他者に読んでもらうことで、相手に分かりやすい表現を使用できているか確認させる。 ・自己評価させることで、自分に現時点で何ができて、何ができないのかを把握させる。 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・ループリックを生徒に再提示して、自己評価を行うことで、よりよいものを書こうとする動機付けを行う。 ・授業で補助プリント、Self-evaluation sheetを生徒に配付する。 |

| | | | | | |
|-----------|--|---|---|---|---|
| | 【学習活動】 ・グループでお互いの英作文を読み合う。 ・自己評価する。 ・書き直し，書き加えをする（時間があれば）。 | | | | ・ Self-evaluation sheet を回収する。 |
| 課題提出 | ・書き直し，書き加えをした Final Draft を提出させる。 | ○ | ○ | ○ | ・ループリックに従って，評価を行う。 |
| 授業 15分 | 【ねらい】 ・再度自己評価を行うことで，どの点ができるようになったか明確にさせるとともに，今後の課題を発見させる。 【学習活動】 ・最終自己評価をして，できるようになったことと今後の課題を記入する。 | | | | ・ Final Draft を返却し，総評をするとともに，次回への動機付けを行う。 ・ Self-evaluation sheet を生徒に配付，回収する。 |

6 パフォーマンステスト

(1) 実施方法

長崎のさまざまなテーマについて，文と文とのつながりを示す語句や理由を述べる表現を使用し，自分の考え，意見を英語 80 語以上のまとまった文章を作成する。

【手順】

提出課題：ループリックの提示。

First Draft を作成・提出させる。

授業：ループリックの再提示，書き方の確認，グループ内チェック，自己評価，書き直し。

Final Draft を作成・提出させる。

授業：パフォーマンステスト評価を返却。

振り返りシートを記入させる。

(2) 指導上の留意点

- ・始めにパフォーマンステストの流れとループリックを生徒に配付・説明する。
- ・自己評価，アドバイスシートを用いることで書き直しの機会を与えて，よりよいものを作成しようとする動機付けをする。
- ・生徒の自己評価は成績には入れず，フィードバックにのみ使う。

7 ループリック

(1) 評価方法

- ・ **Final Draft** について，採点の基準に沿って評価を行う。主体的に学習に取り組む態度については，**First Draft**，**Final Draft** の比較，及び自己評価のコメントを参考とする。
- ・積極的に英語をたくさん「書く」ということを目標にしたいので，本来「書く」という領域については **accuracy** を重視したいところだが，文全体の構成として「伝わる英語」という点を重視する。

(2) 評価の領域（内容のまとめ）：「書くこと」

| 評価 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-----------|---|--|--|
| 評価 規準 | <p><知識> 自分の意見，感想を伝えるために必要な文章構成や展開，表現を理解している。</p> <p><技能> 長崎のテーマについて，自分の意見や感想を文章の構成や展開を工夫して書く技能を身に付けている。</p> | <p>読み手によく理解してもらえるように，長崎のテーマについて学んだことを活用しながら，自分の意見や感想を，文章の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えている。</p> | <p>読み手によく理解してもらえるように，長崎のテーマについて学んだことを活用しながら，自分の意見や感想を，文章の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えようとしており，First Draft から Final Draft にかけて改善しようとしている。</p> |
| a (5点) | 語句や表現の選択が非常に適切であり，理解しやすい英文を用いて書いている。 | 上記の条件を全て満たして書いている。 | 上記の条件を全て満たしている。 |
| b (3点) | 誤りが一部あるが，理解に支障のない程度の英文を用いて書いている。 | 上記の条件を二つ満たして書いている。 | First Draft から Final Draft にかけて改善しようとしている。 |
| c (1点) | 「b」を満たしていない。 | 「b」を満たしていない。 | 「b」を満たしていない。 |

※「おおむね満足できる」状況を b とする

8 実践報告

(1) 本校のBYODの現状

BYOD活用に向けての準備が進められているが，本校には全校でタブレット 80 台が設置されているのみである。よってBYOD回線を使用する際には，指導する教員の下，多くの生徒は自分自身のスマートフォンを使用する状況である。本校2年生においては，ロイロノートを用いてさまざまな学習や資料提供をしており，振り返りや授業アンケート，個人の記録を残すのにスマートフォンを利用することは以前よりも一般的になってきている。しかし，タブレットではないため，画面の小ささなど，スマートフォンにおける不都合を感じることもある。

(2) 計画

2年生全9クラス約360名（文系5クラス・理系4クラス）において実施する。計画については「5言語活動を中心とした指導と評価」に準ずる。

(3) 実践の目的設定とその過程

「1 はじめに」で記したように，いかに学年全体，他の教員を巻き込んで実践し，ルーブリックを作成していくかということが課題であった。学年全体で取り組むために，長期休業の時間，教科会の時間などを利用して，パフォーマンステストに向けての計画案を提示した。その結果，生徒の現状把握，学年のCAN-DOに基づき，目的を学年で話し合うことができた。また，ICT活用に積極的ではない教員もいたが，話し合いを重ねる中で，ロイロノートについて学び合う時間を長期休暇中にもつこともできた。以下が話し合いの中で設定した目的である。

- ① 生徒が書きやすい，また書きたくなる知識のある課題設定をして，間違いを恐れずに英語を積極的に書く姿勢を養う。
- ② パフォーマンステストを通じて表現する意欲を向上させる。

- ③ ICTを必要に応じて活用するが、ICTありきにならないように利便性を考えて計画する。
また、ルーブリックについては評価の重点を絞り、それぞれの教員が評価しやすい形のものを作成する。

以上の三つをパフォーマンステストの計画、課題設定に反映させた。また、ルーブリック作成に以下のように反映させた。

- ① 課題設定を修学旅行に行く予定である「長崎」とした。総合的な探究の時間で学習したことなどの知識があり、また楽しみにしていることなので積極的に書きやすいことが想定される。語数に関してはCAN-DOに「100語程度のまとまった文章で書くことができる」のが第2学年の目標であったため、今回は2学期ということもあり、80語以上という設定にした。
- ② パフォーマンステストを行う過程で、書き直す機会・振り返る機会を与えることとした。
First Draftを生徒同士でチェックし合うことで文章全体が他者に通じるか確認でき、書き直しの課題を見つける機会になると考えた。また、**First Draft**と**Final Draft**を比べることで、主体的に学習に取り組む態度についても評価できると考えた。
- ③ ロイロノートはテーマ設定の確認のみに使用し、課題の提出は紙で提出をさせることとした。
また、ルーブリック作成において、本来「書く」という領域については **accuracy** を重視したいところだが、文全体の構成として「伝わる英語」という点を重視することとした。

(2) 実践の結果

夏休みの出校日に生徒に対してパフォーマンステストの流れを提示した(別紙1)。生徒にパフォーマンステストを意識させ、また趣旨から外れていないかをチェックするため、テーマとタイトルをロイロノートで送信させた。生徒も慣れてきていたのか提出する上で特に問題は起こらなかった。約40人のタイトルを一画面でチェックすることができ、訂正箇所があればすぐに送信できるので、紙よりも利便性は高かった。

First Draftを提出させたところで、各担当でどれくらいの仕上がりであるかをチェックして、書き直しの授業のポイントについて話し合う機会をもった。また、話し合いの中で、生徒に提示したルーブリックについても生徒の実情を踏まえた上で「思考・判断・表現」を改訂した方がよいという結論に至った。改訂に至った経緯については、生徒の**First Draft**や授業での活動を観察する中で「思考・判断・表現」のa評価の採点の基準が難しすぎるであろうと判断したためである。生徒に一部改訂した旨を伝え、書き直しの授業の自己評価からは改訂されたルーブリックを用いることとした。

書き直しの授業を当初、修学旅行後に計画していた。修学旅行で実際に行って感じたことも書き加えられ、さらに書きやすくなるだろうと考えたためである。しかし、コロナ禍のため修学旅行が1月に延期となったため、当初の計画とは変わり、12月の学年末考査後に行うこととした。授業1時間の中で、文章の構成、文をつなげる語句について解説をした。その後、生徒を4人ずつのグループに分け、お互いに読み合せ、意味が不明な箇所、間違っている箇所、難しい単語などに線を引かせ、グループ内で話し合いをさせた。かなり活発に意見交換をしている姿が見られ、授業の最後に書かせた**Self-evaluation sheet**(別紙2)にも書き直しへの意欲が書かれているものが多く見られた。ここに書かれた改善点や感想も「主体的に学習に取り組む態度」の評価の参考とすることを教員間で確認した。

Final Draftを各担当で採点する前に、念入りにルーブリックについての採点の基準の確認を行った。採点で迷うものがあれば、その都度確認を行うようにしたが、今回は文全体の構成として「伝わる英語」という点を重視するという点からあまり細かい文法やスペルミスにはこだわらないように

した。

授業にて生徒返却用最終評価表（別紙 3）を返却し、生徒振り返りシート（別紙 4）を記入させて回収した。

(3) 考察・分析

ア Self-evaluation sheet のコメントについて

多くのコメントが今後の課題を見つけ、Final Draft への書き直しへの意欲が見られた。以下が実際の生徒のコメントである。

- ・段落数を増やして、もっと分かりやすくまとめてもいいと思った。
- ・英文を調べてそのまま引用すれば大丈夫だろうと思ったが、難しい単語もあり、自分でも分からない表現もあるので、しっかり分かりやすい文にしていきたい。
- ・グループで回し読みをした結果、自分の文は感想だけになっていることに気が付いた。もっと紹介の内容や問いかけの文を入れたりして、表現を工夫したい。
- ・文章の量を増やしてはみたが、他の文章を読んで、もっとまとめて分かりやすい簡潔な文を目指していきたいと思った。
- ・代名詞や言い換えをうまく使うことができず、表現がくどい文章になってしまっていた。
- ・自分では通じると思っても、グループで読み回しすることで、客観的に読むと分かりづらいということが知れてよかった。
- ・他の文章を読んで、自分の課題はつながりの表現をうまく使っていくことだと分かった。
- ・構成や展開をあまり工夫できていなかったもので、きちんと考えて英文を作るようにする。
- ・グループのメンバーが指摘してくれた難しい単語を言い換えるようにするか、もしくはその後に説明を付けるようにしたい。
- ・グループのメンバーからの指摘や自分での評価から、単語の簡略化と構成の手直し（主題→例→結論）が必要だと分かった。

生徒のコメントの多くは表現に関するものが多かった。他の生徒の客観的な指摘や自己評価から多くの生徒が課題を見つける結果となった。ループリックの生徒への事前提示、書き直しにつながる生徒同士の意見交換、また自己評価の機会については生徒にとって効果が高いものであることが分かった。

イ Final Draft のループリックによる評価結果

以下は学年平均である。

| 知・技(5) | 思・判・表(5) | 主体的(5) | 合計(15) |
|--------|----------|--------|--------|
| 3.9 | 3.7 | 3.7 | 11.1 |

生徒個人の最高得点は3観点の合計15点、また、最低得点は3観点で合計3点であった。評価平均が高すぎたり、低すぎたりするのではないかと心配はしていたものの、結果は平均11.1点になった。語数が多ければいいという訳ではないが、80語以上という規定をほとんどの生徒が超えて仕上げてきた。当初学年で話し合った間違いを恐れずに英語を積極的に書く姿勢、表現する意欲を向上させるという目標設定を大方クリアする結果になったのではないかと思う。生徒の状況をパフォーマンステストの過程で見極めて、試行錯誤し、学年で話し合い、ループリックを柔軟に見直したことがこの結果につながったことが考えられる。

ウ 振り返りシートについて

振り返りシートの各質問に対する生徒の主な回答と、その分析を以下に示す。

○「今後の課題をクリアするために、あなたはどのようなことをしていくべきだと考えますか」

以下が生徒のコメントをまとめたものである。

- ・日々の授業を大切にす。
- ・とにかく英単語力を付ける。
- ・英作文が出題されたときに諦めずに書く。
- ・英語表現の復習をしっかりやる。
- ・新聞を読んで、自分の中の情報量を増やす。
- ・冬休みを利用して文法事項を復習する。
- ・関係代名詞を使って難しい単語の説明を加えられるようにする。
- ・接続詞の使い方をしっかりできるように復習する。

パフォーマンステストを通して、生徒はやるべき身近な課題を発見することができたことがうかがえる。

○「今回のパフォーマンステストはよくできましたか。」

そう思う 4 3 2 1 そう思わない

| 4 | 3 | 2 | 1 |
|-----|-----|-----|----|
| 31% | 45% | 21% | 3% |

そう思うが学年全体の76%となった。以下が主な理由である。

- ・書き直しの課題をクリアすることができたから。
- ・段落を意識して、自分の意見を伝わりやすいように書くことができたから。
- ・今まで習った文法、構文をしっかり使えたから。
- ・自信はなかったが、評価が自分の思う以上のものであったため自信がもてたから。

そう思わない主な理由が以下である。

- ・まだ難しい単語を使ってしまい、簡単な語に変換できなかったから。
- ・文章に自分の意見をうまく入れることができなかったから。

○「今回のパフォーマンステストは難しかったですか。」

そう思う 4 3 2 1 そう思わない

| 4 | 3 | 2 | 1 |
|-----|-----|-----|----|
| 22% | 49% | 26% | 3% |

「難しかった」と回答した生徒が71%となった。当初「長崎」について書くことは生徒にとって書きやすいテーマだと思って設定したが、多くの生徒は難しさを感じた結果となった。理由としては、自分の意見を書きにくかったということや上記の②の理由となったような根本的に英作文を書くことへの課題を書いたものが多かった。生徒へは英作文を書くに当たって、自分の結論を述べやすい話題を選ぶなど書く前からのテーマ設定が重要であるというアドバイスを行った。

(4) 成果と課題

今回の課題を実践する前に学年として、パフォーマンステストについての目標、目的、生徒の実状を話し合う機会をもつことができたのは大きな成果であった。協力をしてもらえるのか、協働的に行うことができるのかは不安であったが、実際には学年だけではなく、英語科全体でパフォーマンステストについて考えるきっかけとなった。また、本校のCAN-DOリストは2016年に作成されて以来そのままであったため、評価の根本であるCAN-DOリストの見直しにつなげることができた。

パフォーマンステストを行うに当たって大切なことは、生徒の実状をしっかりと把握し、明確な目標設定をすることだと痛感した。また、生徒を観察する中で作成したルーブリックを恐れずに改訂していくことも必要だということも分かった。

また、パフォーマンステストは生徒に定期考査とは違う緊張感や生徒がもっている能力を生徒自らが試行錯誤しながら発揮する効果が十分にある。生徒の能力向上は大いに期待できるが、ICTなどを効果的に活用することや工夫によって、さらに教員の負担を軽減しつつ実施されるものになっていくように研究をしていきたい。

9 参考文献

- ・文部科学省（2018）「高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 外国語編 英語編」
- ・文部科学省 国立教育政策研究所（2019）「学習評価の在り方 ハンドブック 高等学校編」
- ・国立教育政策研究所（2021）『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 高等学校外国語』
- ・愛知県総合教育センター（2017）『授業の手引 高等学校英語』

第 2 学年 2 学期英語パフォーマンステストについて（改訂版）

第 2 学年英語科

1. Writing テスト課題について

・ Writing

長崎のさまざまなテーマについて、文と文とのつながりを示す語句や理由を述べる表現を使用して、自分の考え、意見、感想を英語 80 語以上のまとまった文章を作成する（最低 80 語、それ以上書けばさらに評価の対象とします）。

2. テストに向けての日程（予定）

夏休みの間に長崎についてどのテーマで書くか、title は何にするか考えておく。

（書ける人は夏休み中に書いてもらって構いません）

注：夏課題の「NAGASAKI」や総合的な探究の時間で学んだことを参考にして、自分の考え、意見を述べられるテーマ設定をすること。単に紹介だけで終わらないようにする。

8月17日（火）～9月10日（金）までにテーマを決めて、文章の title をロイロノートにて担当へ送信。

9月17日（金）Writing テスト課題を用紙に書いて担当者へ提出。

9月下旬から10月上旬の授業にて writing 課題を 1 時間取り扱う。

10月15日（金）～11月8日（月）

書き直しを提出。担当者がループリックにて評価。

12月3日（金）Writing 課題を返却、振り返りを実施。

12月下旬 ロイロノートにて各自 Speaking 映像を提出。

3. 下書き用紙、テスト用紙、評価について

・ Draft（下書き用紙）で下書きをする

・ Writing test に清書して、9月17日（金）に提出

提出前の確認事項 クラス、番号、名前の記入

Total 字数の記入

references 参考資料の記入（例：NAGASAKI, 総探の資料、夏の課題図書など）

パフォーマンステスト

(1) 実施方法:

長崎のさまざまなテーマについて、文と文とのつながりを示す語句や理由を述べる表現を使用して、自分の考え、意見を英語 80 語以上のまとまった文章を作成する。

ルーブリック

(1) 評価方法: 「知識・技能」については、誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文で書ければ「b」, 「思考・判断・表現」については、以下の三つの条件を満たしていれば「b」とする。

条件 1: 自分の意見、感想が明確に書かれており、その根拠となる理由、学んだ情報、参考資料を二つ以上挙げている。

条件 2: 文章構成や展開を工夫して、複数の段落から成る文章で書いて伝えている。

条件 3: 80 語以上で構成された文章で書かれている。

| 評価 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-----------|--|---|---|
| 評価規準 | <p><知識></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の意見、感想を伝えるために必要な文章構成や展開、表現を理解している <p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 長崎のテーマについて、自分の意見や感想を文章の構成や展開を工夫して書く技能を身に付けている。 | 読み手によく理解してもらえるように、長崎のテーマについて学んだことを活用しながら、自分の意見や感想を、文章の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えている。 | 読み手によく理解してもらえるように、長崎のテーマについて学んだことを活用しながら、自分の意見や感想を、文章の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えようとしている。 |
| a (5点) | 語句や表現の選択が非常に適切であり、理解しやすい英文を用いて書いている。 | 上記の条件を満たした上で、自分の意見、感想を効果的に示す工夫をして書いている。 | 上記の条件を満たした上で、自分の意見、感想を効果的に示す工夫をして書こうとしている。 |
| b (3点) | 誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて書いている。 | 上記の条件を全て満たして書いている。 | 上記の条件を全て満たして書こうとしている。 |
| c (1点) | 「b」を満たしていない。 | 「b」を満たしていない。 | 「b」を満たしていない。 |

※「おおむね満足できる」状況を b とする。

Self-evaluation sheet

パフォーマンステスト

(1) 実施方法：

長崎のさまざまなテーマについて、文と文とのつながりを示す語句や理由を述べる表現を使用して、自分の考え、意見を英語 80 語以上のまとまった文章を作成する。

ルーブリック

(1) 評価方法：「知識・技能」については、誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文で書けていれば「b」, 「思考・判断・表現」については、以下の三つの条件を満たしていれば「b」とする。

条件 1：自分の意見、感想が明確に書かれており、その根拠となる理由、学んだ情報、参考資料を二つ以上挙げている。

条件 2：文章構成や展開を工夫して、複数の段落から成る文章で書いて伝えている。

条件 3：80 語以上で構成された文章で書かれている。

| 評価 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-----------|--|---|---|
| 評価規準 | <p><知識></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の意見、感想を伝えるために必要な文章構成や展開、表現を理解している <p><技能></p> <ul style="list-style-type: none"> 長崎のテーマについて、自分の意見や感想を文章の構成や展開を工夫して書く技能を身に付けている。 | 読み手によく理解してもらえるように、長崎のテーマについて学んだことを活用しながら、自分の意見や感想を、文章の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えている。 | 読み手によく理解してもらえるように、長崎のテーマについて学んだことを活用しながら、自分の意見や感想を、文章の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えようとしている。 |
| a (5点) | 語句や表現の選択が非常に適切であり、理解しやすい英文を用いて書いている。 | 上記の条件を全て満たして書いている。 | 上記の条件を満たした上で、自分の意見、感想を効果的に示す工夫をして書こうとしている。 |
| b (3点) | 誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて書いている。 | 上記の条件を二つ満たして書いている。 | 上記の条件を全て満たして書こうとしている。 |
| c (1点) | 「b」を満たしていない。 | 「b」を満たしていない。 | 「b」を満たしていない。 |

※「おおむね満足できる」状況を b とする

★上記のルーブリックに従って、自己評価をしてみよう。下の表に○を付けて、合計得点を記入する。

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--------|-------|----------|---------------|
| a (5点) | 5 | 5 | 5 |
| b (3点) | 3 | 3 | 3 |
| c (1点) | 1 | 1 | 1 |

Class No. Name

Score

★自己評価をした感想，反省，課題などを記入する。

Final evaluation of writing performance test

評価は○で囲んであります。その合計点が **Score** に示されています。

条件 1 : 自分の意見, 感想が明確に書かれており, その根拠となる理由, 学んだ情報, 参考資料を二つ以上挙げている。

条件 2 : 文章構成や展開を工夫して, 複数の段落から成る文章で書いて伝えている。

条件 3 : 80 語以上で構成された文章で書かれている。

| 評 価 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|-----------|--|--|---|
| 評価規準 | <知識> ・自分の意見, 感想を伝えるために必要な文章構成や展開, 表現を理解している <技能> ・長崎のテーマについて, 自分の意見や感想を文章の構成や展開を工夫して書く技能を身に付けている。 | 読み手によく理解してもらえるように, 長崎のテーマについて学んだことを活用しながら, 自分の意見や感想を, 文章の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えている。 | 読み手によく理解してもらえるように, 長崎のテーマについて学んだことを活用しながら, 自分の意見や感想を, 文章の構成や展開を工夫して複数の段落を用いて詳しく書いて伝えようとしており, First Draft と Final Draft に改善しようとしている。 |
| a (5点) | 語句や表現の選択が非常に適切であり, 理解しやすい英文を用いて書いている。 | 上記の条件を全て満たして書いている。 | 上記の条件を全て満たしている。 |
| b (3点) | 誤りが一部あるが, 理解に支障のない程度の英文を用いて書いている。 | 上記の条件を二つ満たして書いている。 | First Draft と Final Draft に改善しようとする努力している。 |
| c (1点) | 「b」を満たしていない。 | 「b」を満たしていない。 | 「b」を満たしていない。 |

※「おおむね満足できる」状況を b とする。

Score

Class No. Name

振り返りシート

1 パフォーマンステストであなたができるようになったこと，学んだことは何ですか。

2 パフォーマンステストを通してあなたが見つけた今後の課題は何ですか。

3 2の今後の課題をクリアするために，あなたはどのようなことをしていくべきだと考えますか。

4 今回のパフォーマンステストはよくできましたか。○で囲み，理由を記述してください。

そう思う 4 3 2 1 そう思わない

理由 ()

5 今回のパフォーマンステストの課題は難しかったですか。○で囲み，理由を記述してください。

そう思う 4 3 2 1 そう思わない

理由 ()

6 次回のパフォーマンステストはどんなテーマで書きたいと思いますか。

Class No. Name